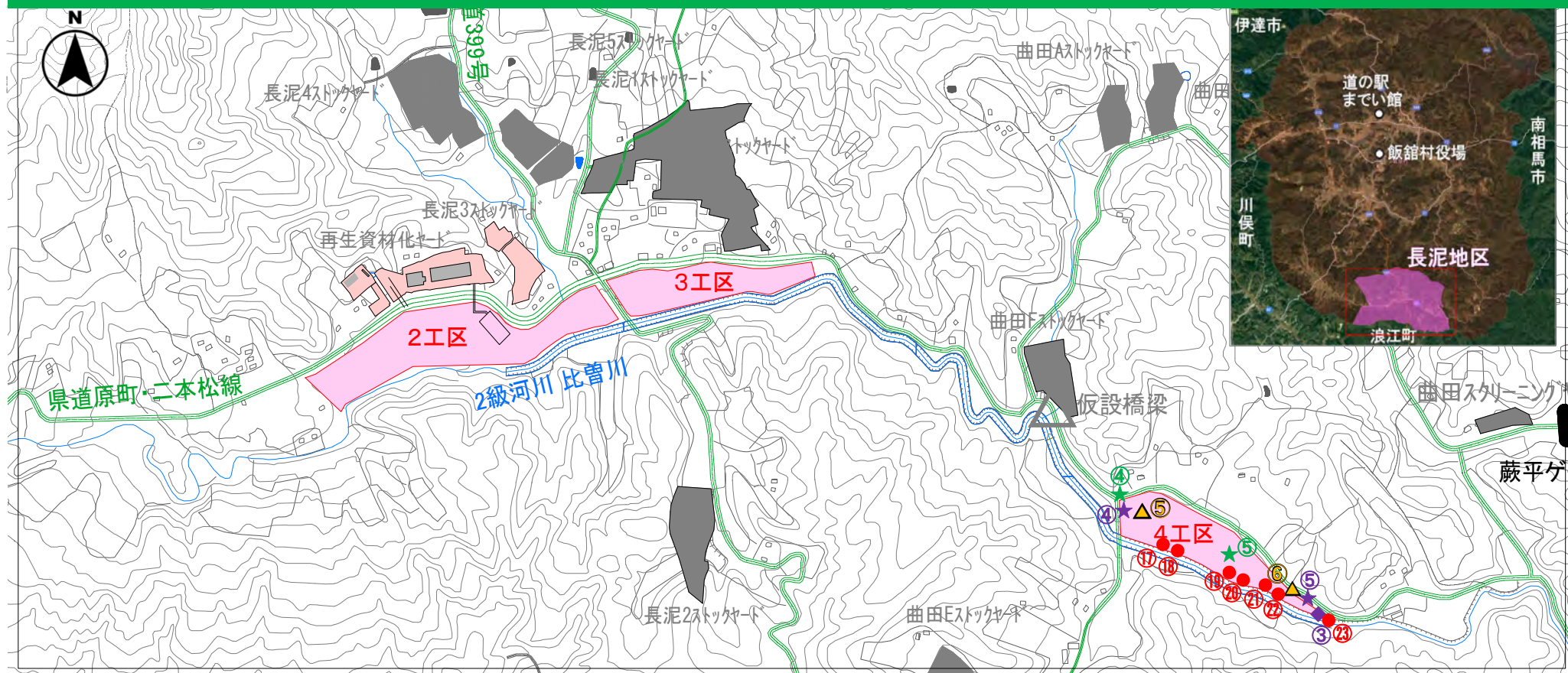


盛土造成箇所における周辺環境測定地点(月報)



【凡例】

- : 湧水処理集水柵からの放流水中の放射能濃度、濁度 ◆ : 放流先河川の放射能濃度、環境基準項目(32項目)
- ★ : 空気中の放射能濃度 ★ : 空間線量率(工事用地境界)
- ▲ : 地下水監視孔(井戸)中の放射能濃度等

盛土造成箇所における周辺環境測定結果(4工区報告)

○4工区は盛土施工後であり、理解醸成のために3回／年(4・6・10月)測定を行う。

●:湧水処理集水桝からの放流水中の放射能濃度、濁度 ※1、※2、※3、※4、※5

測定日	測定地点 測定項目	⑰ 4-1 工区 4-1-1		⑱ 4-1 工区 4-1-2		⑲ 4-2 工区 4-2-1		⑳ 4-2 工区 4-2-2		㉑ 4-3 工区 4-3-1		㉒ 4-3 工区 4-3-2		㉓ 4-4 工区 4-4	
		放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)	放射能濃度 (Bq/L)	濁度 (度)
2025/4/9		ND	3.1	ND	39.6	ND	3.5	ND	4.4	ND	3.4	ND	1.4	ND	2.8
2025/6/3		ND	8.4	ND	590	ND	38.5	ND	6.7	ND	1.1	ND	1.0	ND	1.4

※1 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。
放射能濃度[Bq/L]の基準:セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

※2 放射能濃度検出下限値:1Bq/L

※3 濁度定量下限値:0.1度 定量下限値未満は<0.1と表記

※4 濁度の自主管理値:70mg/L以下(ホルマジン重量換算)
自主管理値を超えた桝は、分析により鉄分を主とする成分である。

※5 「-」 放流実績が無かったことを示す。

▲:地下水監視孔(井戸)中の放射能濃度等 ほ場盛土造成 ※5、※6、※7

測定地点		測定項目	放射能濃度	電気伝導率	塩化物イオン濃度
		測定日	(Bq/L)	(mS/m)	(mg/L)
⑤ 4 工区	(上流)	2025/4/10	ND	13	4.6
		2025/6/4	ND	14	5.1
⑥ 4 工区	(下流)	2025/4/10	ND	12	6.5
		2025/6/4	ND	12	8.1

◆:放流先河川の放射能濃度 ※6、※7

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
③4工区	2021/3/5	(盛土前)	ND
	2025/4/10	(盛土後)	ND
	2025/6/2	(盛土後)	ND

★:空間線量率(周辺環境)

測定日		測定地点④	測定地点⑤
		空間線量率(μSv/h)	
2025/4/21	(盛土後)	0.44	0.25
2025/6/2	(盛土後)	0.44	0.24
	(盛土後)		

★:空気中の放射能濃度 ※8

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/cm ³)
④	2025/4/10	(盛土後)	ND
	2025/6/5	(盛土後)	ND
⑤	2025/4/10	(盛土後)	ND
	2025/6/5	(盛土後)	ND

※6 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※7 放射能濃度検出下限値:1Bq/L
放射能濃度[Bq/L]の基準:セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

※8 放射能濃度検出下限値[Bq/cm³]:セシウム134:1.0×10⁻⁷、セシウム137:1.0×10⁻⁷
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。
放射能濃度[Bq/cm³]の基準:セシウム134の濃度/2×10⁻⁵+セシウム137の濃度/3×10⁻⁵≤1